

【マイクロソフト認定教育イノベーターベストエヴァンジェリストアワード受賞のご報告】



マイクロソフト認定教育イノベーターは毎年応募→認定を受けて1年間活動しています。

「ベストルーキー（初年度のみ）」（1名）「ベストインフルエンサー」（3名）「ベストエヴァンジェリスト」（2名）「ベストアシスト」（1名）というアワードがあり、1年間もっとも顕著な活動が評価された認定教育者が受賞するものです。

オンラインで全国の教育者を巻き込み、教育版マイクラフトやプログラミングについての勉強会を毎月開催するなどの継続的な活動を評価していただきました。



2022年度はベストインフルエンサーを受賞（写真左）し、2023年度はベストエヴァンジェリストを受賞（写真右）しました。

こうした受賞実績が2回に到達した認定教育者はMIE Fellow（マイクロソフト認定教育フェロー）に推薦されます。

マイクロソフト認定教育フェローは日本国内でこれまでに2020年度6名、2021年度3名、2022年度1名の合計10名認定されており今年度認定は1名で11人目となります（参考：既存認定者インタビュー記事別紙参照）。

日本マイクロソフト品川本社MIEE2023 クロージングサミットにて（2023年8月27日）



◆マイクロソフト認定教育イノベータープログラムの目的◆

現代社会はデジタル化が進み、日々膨大な量の情報が作られ、その中で私たちは暮らしています。私たちが教えている子どもたちが社会に出る5年後、10年後、20年後は、よりその傾向が強まっていくと予測されます。そのような近未来を生き抜くためには、コミュニケーション能力、コラボレーション能力、好奇心、計算論的思考、創造力、疑問を逃さない思考性という21世紀を生き抜く力(Future-ready skills)が必要です。マイクロソフトのツールやサービス、テクノロジーは、このような21世紀を生き抜く力を育むために設計されています。

マイクロソフト認定教育イノベータープログラムは、このようなマイクロソフトのツールやサービス、テクノロジーを活用した教育や校務におけるICT活用を実践し、その実践方法を広く推進していくことを目的としています。

ICT活用には、Teams や Flip を使用したコミュニケーションの促進や、Excel や PowerPoint のようなツールの活用、Power Platform を使用したデータの活用や校務の改善、教育版マイクラフトを使用した創造性や協調性の学習など、さまざまな方法があります。

マイクロソフト認定教育イノベーターの活動は、これらのICTを活用した教育の実践や校務の改善を行い、それらの情報の共有を行うことによって多くの教員へ有効な活用情報をご提供いただくことです。マイクロソフト認定教育イノベーターに選定された教育者の皆様はすでに優れたICT活用の実践をされており、その活動を中心にした情報共有をされています。

マイクロソフトは、マイクロソフト認定教育イノベーターの皆様の実践活動の共有を支援し、より多くの教育者へのICT活用を後押しとなるよう、プログラムを運営しています。



◆マイクロソフト認定教育フェローについて

米MS 副社長も認める日本の教育者たちのICT実践と、「ICT化に遅れた日本のチャンス」とは？

https://www.watch.impress.co.jp/kodomo_it/special/1331106.html

◆栃木県のMIEEインタビュー記事

教育ICTで悩み孤軍奮闘する先生たちをつなぎ、地域の学びを前進させる教員コミュニティ——マイクロソフト認定教育イノベーター「MIEE」インタビュー⑤ - こどもとIT

https://www.watch.impress.co.jp/kodomo_it/teachers/1254719.html

◆Minecraft Education Ambassador 認定者（日本国内で3名認定）

教育版マイクラフトの専門家として認定を受けている数少ない日本人の一人です。

右のQRコードからデジタルバッジを確認できます。

Minecraft Education Ambassador

<https://education.minecraft.net/en-us/connect/minecraft-ambassador>

